

吉野川（早明浦ダム）の渇水の状況

早明浦ダムの利水容量の貯水率が 19 日にゼロとなり、発電専用容量からの緊急放流を開始したが、その後の前線による降雨により早明浦ダム下流の池田ダムへの流入量が増加したため、20 日に緊急放流を停止した。

25 日に台風第 11 号が関東地方に上陸したが、早明浦ダム上流域では台風による降雨が無かった。

31 日午前零時現在、早明浦ダムの貯水率は 1.6%（平年比 1.9%）で、貯水量は減少中。なお、75%の取水制限を継続中。

30 日から 31 日にかけて前線による降雨があった（31 日午前 12 時までに早明浦ダム上流域で 15.1mm）が、十分な回復にはなっておらず、9 月 1 日の朝（午前 8 時頃）に再び貯水率がゼロとなる見通し。

【利水容量の貯水率がゼロとなった場合の対応】

- ① 利水容量の貯水率がゼロとなった時点から、再度、発電専用容量からの緊急放流を実施することとなる。

（8月17日の吉野川水系水利用連絡協議会の決定に基づき実施）

※ 第4次取水制限における水道用水の供給量を勘案し、断水回避を目処に設定。

※ 徳島用水：1.85 m³/s 香川用水：1.81 m³/s 合計；3.66 m³/s

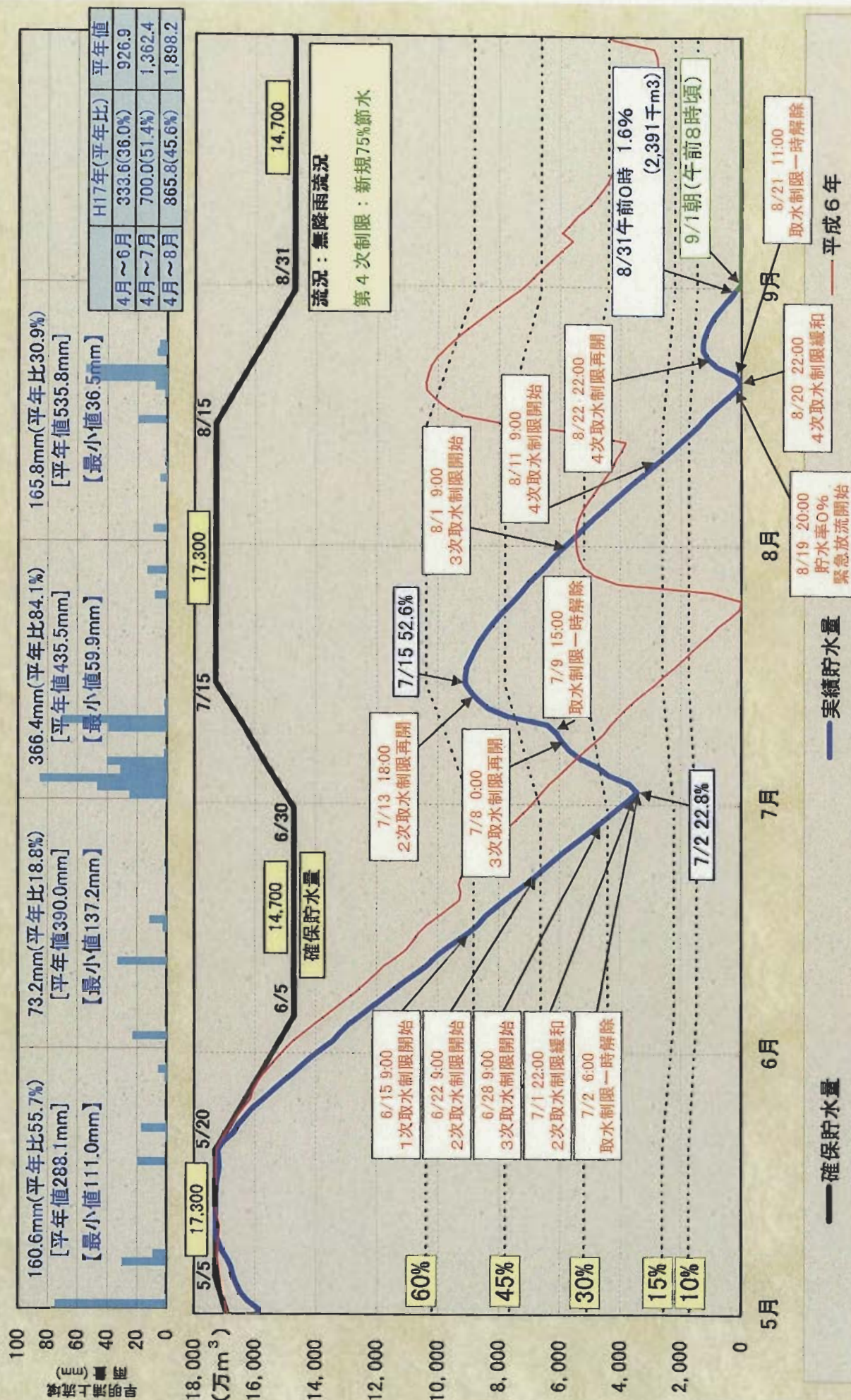
※ 現在、発電専用容量は、約 1,066 万 m³ あり、1ヶ月程度の補給が可能と見込まれる。

- ② 河川維持流量については 13m³/s³ のところ、自然環境等（サツキマスなど魚類の移動や水質）への影響を最小限に抑える範囲で、緊急避難的に異常渇水時の保持流量を 7m³/s³ とし、これを上回る水量については、緊急取水を認めることとしている。

（なお、19～20日に利水容量がゼロになった際は、すぐに降雨があつて流況が回復したため、同様の緊急取水には至らなかった。）

早明浦ダム貯水容量変化図

平成17年8月31日現在



※確保貯水量：今後の需要に対し、この時期に必要な容量のことです。

全国の渇水状況

2005/8/31現在

地方	水系名	取水 制限 開始日	現在の 制限 開始日	取水制限率			関連施設	貯水率		平年比	渇水の影響を受ける主な地域	
				上水	工業	農水		前日比				
中部	矢作川	6/3	8/23	一時解除(矢作ダム) 上流の農水ダムでは取水制限を実施中			矢作ダム	直轄	55.8%	↑ 0.8	88.9%	愛知県豊田市、岡崎市など
	木曽川	5/24	8/13	10%	20%	20%	牧尾ダム	水機構	40.6%	↓ 1.0	65.4%	岐阜県多治見市など
近畿	加古川	6/25	7/1	一時解除(加古川大堰) 上流の農水ダムでは取水制限を実施中			加古川大堰	直轄	97.0%	↑ 3.5	110.6%	兵庫県加古川市、高砂市など
四国	吉野川	5/27	8/16	5%	30%	-	上流3ダム	水機構・直轄	34.9%	↓ 0.4	35.1%	愛媛県四国中央市
	徳島県用水 (吉野川) 香川県用水	6/15	8/22	供給量22%削減(新規分75%削減) 供給量75%削減			早明浦ダム	水機構	1.6%	↓ 1.5	1.9%	徳島県徳島市など
那賀川		4/26	8/10	-	40%	40%	長安口ダム	徳島県	20.1%	↑ 1.2	25.8%	徳島県阿南市、小松島市など
九州	仁淀川	6/21	8/25	30%	-	30%	大渡ダム	直轄	78.8%	↑ 1.7	81.9%	高知県高知市など
	山国川	6/22	8/30	10%	67%	30%	耶馬溪ダム	直轄	58.5%	↓ 2.0	71.0%	大分県中津市など

※ 徳島川の上流3ダムは、富郷ダム(水機構)、柳瀬ダム(直轄)、新宮ダム(水機構)

※ 貯水率は「貯水量÷利水容量」で算出

これまでに取水制限を実施した河川

平成17年8月31日現在

(☐ 印は8月31日現在継続中)

